

ちば里山新聞

(第20号)

編集 発行 ちば里山センター
袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
電話 0438-62-8895
題字 倉島 貴浩
(ワークホーム里山の仲間たち)

第6回里山フェスティバル開催

地球温暖化防止、生物多様性保全など地球環境に対する関心の高さを実感！

◎里山体験 ☆里山シンポジウム に多くの参加がありました。



◎里山体験コース

山武市、市原市、香取市、南房総市の4カ所で開催され参加者は千葉駅前からバスで現地まで移動し、植樹・下刈りなど里山の整備作業を体験しました。作業後それぞれのコースで工夫したイチゴ狩り、マッシュルーム試食などお楽しみがあり皆さん満足した様子で帰路に就きました。

5/24 南房総おんだら山
眼下に外房の海を見下ろして、高台での開会式

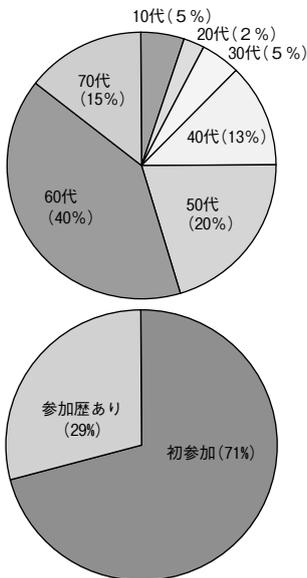


☆里山シンポジウム

約300名が参加。
「里山と食料・水・木材」についてのパネルディスカッションを行いました。
(会場：佐倉市志津コミュニティセンター)

5/17 「里山シンポジウム」
パネルディスカッション

参加者アンケート



(左図は参加者の年代と初参加の割合)

- ・たくさん植えることが出来てよかった。(10代 男性)
- ・今日植えた杉が5年後、10年後育っていくのが楽しみ。(20代 女性)
- ・下草刈りをもっとやりたかった。(60代 男性)
- ・古農具をたくさん拝見させていただき面白かった。(40代 女性)
- ・自然観察をしながらのハイキングが楽しかった。(50代 女性)
- ・竹細工で自分用の食器を作れて嬉しかった。(60代 男性)
- ・森林整備でいい汗をかいた。(70代 男性)
- ・伐採作業が楽しかった。(4歳 男児)
- ・いちごの持ち帰りができず残念だったが、とても美味しかった。(40代 女性)
- ・森林整備をして山が明るくなり、少しの力でもできることに驚いた。(60代 女性)
- ・わら細工はとても難しく、昔の人はすごいと思った。(70代 女性)
- ・貝塚が見られて大変良かった。(40代 女性)
- ・山頂での食事は大変美味しく、豚汁もとても美味しかった。(50代 女性)
- ・マッシュルームの豚汁がとても美味しかった。(60代 女性)

公益保全林マスタープラン

平成21年4月18日成果報告会、

平成21年5月7日千葉県協働事業評価委員会ヒアリングで当事業はほぼ終了しました。



千葉県協働事業評価委員会ヒアリング
(金親会長、伊藤事務局長出席)

県と協働で公益保全林621haの調査を行いました。調査結果、広葉樹が多く多種多様な森であることから、森林整備の方針を「生物多様性の森林づくり」として提案しました。「NPOの森」、「生物多様性の森」、「教育の森」、「企業の森」、「森林施業推進の森」と区分けして、その目標に向かって整備することになります。例えば「NPOの森」とは林内が平坦、緩傾斜で道路条件が良く、自然観察等に適した広葉樹林が多い場所を選定しました。

しかし公益保全林は一般の人がなかなか立ち入れない場所であるため、これらを行うには林内の作業道整備、案内板の設置、駐車場の確保など多くの条件整備が必要であり今後の課題となります。

平成21年度

通常総会開催

開催場所の山武市から椎名市長、千葉県森林課伊藤課長に挨拶をいただき1号議案から4号議案まで審議し滞りなく終了しました。終了後、森林研究所で施設内を探訪し森林セラピー体験や樹木の説明などを受けました。



山武市椎名市長祝辞



新役員紹介



正会員席



森林研究所2階講堂にてレクチャーを受ける参加者



探訪 — 森林研究所



ちば里山センター新役員紹介

| 役員名 | 氏名 | 所属団体名 | 役員名 | 氏名 | 所属団体名 |
|------|-------|-------------------|------|------|--------------------|
| 会長 | 金親博榮 | 谷当グリーンクラブ | 運営委員 | 杉山茂嘉 | 森の時計・自然工夫塾 |
| 副会長 | 高橋明美 | (特非)さんむ環連協 | 運営委員 | 鈴木恵子 | 豊富どんぐりの森 |
| 運営委員 | 新井孝男 | ちば千年の森をつくる会 | 運営委員 | 高橋和靖 | おとずれ山の会 |
| 運営委員 | 岡本透 | 里山作り拓樹 | 運営委員 | 鶴岡清次 | 市原米沢の森を考える会 |
| 運営委員 | 小野田典生 | 千葉県森林組合連合会専務理事 | 監事 | 那須捷雄 | (特非)住みよい地域づくり推進協議会 |
| 運営委員 | 小西博典 | 千葉県自然観察指導員協議会 | 監事 | 若本重男 | 里山を歩く会 |
| 運営委員 | 重田勉 | (社)千葉県緑化推進委員会常務理事 | | | |

総会を終え「ちば里山センター」の 今後の方向について考える

ちば里山センター会長 金親博榮

梅雨が空け、本格的な夏がやってきました。皆さん里山ではいい汗をかいていますか。先日は、山武市（日向）にて、平成21年度通常総会を開催しましたところ、沢山の方々が参集し、熱心にご討議頂きありがとうございました。その中で、私達13名が新たに役員に選出され、3年の任期がスタートしました。

里山の荒廃と里山活動への期待

里山は県土の3割を占める山林と、田畑、水辺など、元々は農林業の拠り所でした。しかし木材価格の低迷等により、面積の9割を占める農林業家のみの努力によって里山の再生を望むのは困難となっています。一方、近年、食料、木材の生産という従来からの役割に加え、多面的な機能と呼ばれる環境資源としての役割が評価され始め、健康、福祉、医療や教育の場としても重視されてきました。里山活動協定は現在約150haとなっており、県内の山林の0.1%弱と、まだ小さな割合ですが、この活動が導火線となり、多くの県民が「里山を大切にしよう」とする大きなうねりを作り出す役割を担っています。

法人化のメリット

これらの活動を進めるにあたって、重要な信用力の向上は、任意団体では限度があり、法人格の取得が一つの対応策であると考えます。法人化により、強力な体制を組み、信用力の増大、事務局の強化、雇用の安定、次代の育成などを期して、組織を変更するという事です。

全国に先駆けて発足し、広範な活動の実績を持つ「ちば里山センター」は、必要性の高まる里山活動の流れの中で、その役割を継続、拡大して行く事が、本来の方向であると考えます。

ちば里山センターの役割と変化の必要性

ちば里山センターの目的は、個々の活動団体の連合組織として、個々の団体の下支えをし、全体がより活発なものになる方策を講ずる事にあります。全国で最初のシステム、里山を提供したい地主と、里山に入りたい県民や企業を、情報のネットワークで結び、双方による協定を県が認定し、その後のフォローを、ちば里山センターがトータルに受け持ち、おいおい法人化していくというものでした。ちなみに、現在の事業は二つの分野から構成されています。

1) 委託事業

①里山ワンストップサービス（活動団体間のネットワーク化と情報交換、4回の新聞発行、ホームページの運営、里山情報バンクの管理と運用）

②里山フェスティバルの開催

2) 地球環境基金による自主事業

①里山活動の振興 ②県民へのPR

③安全教育の実施 ④学生体験講座ほか

これまでも増して、平成21年度からは、里山行政の一翼を担う組織としての位置付けは変わらぬものとしながら、人的、財政的な側面での、独立を求められる事態となってきました。元々お金を稼ぎにくい里山団体の連合体として、財政を強化するためには、更なる事業の導入、民間の助成金の獲得、会員拡大と企業・団体との連携による社会貢献活動に、里山活動を組み込んでいく努力が必要です。

第一歩はNPO化

ちば里山センターが担う公益的機能の発揮に適した公益法人、NPO等が考えられ、21年度内の、法人格の取得を目指して行動する事としました。活動の見直しは日常的にも行い、マンネリ化することなく、皆様のご意見を伺いながら、運営委員会、事務局を中心として運営して行こうと考えています。皆様の里山に対する熱い思いを結集し、次代を見据えた皆様のご指導、ご協力をお願いします。

会員団体紹介

おとずれ山の会

作業を楽しみながら 森づくり

市原・木更津にまたがる「音信(おとずれ)山」

高滝ダムの西方、市原市と木更津市の境界線上の小さなピーク。このあたりは水源涵養保安林ですが、国有林払い下げを受けて「おとずれ山の会」が整備を行っています。

会の発足は平成18年、現在の会員は主に市原市在住の皆さんで、女性6名を含む14名。「森づくりを楽しみながら、自然との共生と自然環境の保全を考える」をスローガンに、和気あいあいに作業を進めています。

篠竹藪を刈り払い、見通せるようになりました

この3年間、作業としては主に「下草刈り」を行ってきました。篠竹の藪を切り開き、灌木等の除伐を行い、ようやく全体が見渡せるようになったところです。これからは、間伐や植栽と並行して、いろいろな活用を考えてゆくわけですが、ことしは特に「道」を整備し、「見晴らしを生かした遊歩道づくり」を進めようとしています。

“つたうるし”かぶれ予防・駆除方法教えて下さい

下草刈りによって、さまざまな植生の芽吹きがありますが、場所によっては「つた漆」が激しく繁茂しているところがあり、改めて驚いています。2月ごろには、2名の会員が全身のかぶれで大変な思いをしました。「かぶれの予防法」や「つた漆の駆除」について詳しい方がおられましたらぜひアドバイスをいただきたく、よろしくお願いいたします。



この山の種子によるコナラ実生の植栽。



ちば里山センターからリスの生態の説明を受ける大学生

「おとずれ山の会」の概要

| 代表 | 設立年月日 | 会員数 | 活動地 | 活動日 |
|-------|----------|-----|---------|---------------------------|
| 高橋 順子 | 平成18年12月 | 15名 | 木更津市真里谷 | 原則：第一・第三木曜日(変更あり。ご確認ください) |

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kofuwinds/> ホームページは、「ちば里山センター・団体紹介」からもリンクしています。次の会報(4号目)は、6月中旬に発行予定です。

編集後記

ちば里山センターの事務局がにぎわってきました。会社員のため休祭日中心ですが、里山活動のイベントは積極的に手伝ってくれるSさん。C大の学生で9月実施予定の学生講座の企画を中心に手伝ってくれるNさん。同じくTN大のGさん。事務局体制が手薄なため大助かりです。ちば里山センターはボランティアで事務局運営(ホームページの管理、新聞発行、里山活動イベントの企画・運営など)を手伝っていただける方を募集しております。県内の色々な里山を知ることができます。里山活動に興味のある方、空いた時間に自分のできる範囲で結構ですので連絡をお待ちしております。(た)